

# 羽小だより「はにしのこ」



## 教育目標

みんなと仲よくできる子ども  
よく考えて勉強する子ども  
心も体も強い子ども



No. 11

平成 31 年 2 月 27 日

夜明けが日々早くなり、夕暮れは5時を過ぎても明るさが残るようになってきました。そして、2月も半ばを過ぎると春を感じさせる暖かい日が増えてきました。卒業式まで1か月を切り、6年生は卒業と進学に向けて準備を進めています。1～5年生もこの1年でみんな着実に成長しました。今年度のまとめの月として区切りを迎え、次年度に向けて、心を新たに頑張っていきたいと思えます。

## ありがとう集会 1月29日

本校の教育活動をサポートして下さる皆さんをお招きし、児童から感謝の意を表す会が催されました。手話を交えた『ビリーブ』、全校合奏『コード・ブルー』を披露した後、みんなで「羽生田かるた」で楽しみました。それからランチルームに移動し、茶話会を開きました。



ビリーブを歌う



茶話会

長友佑都氏の著書「日本男児」を読むと、人は周囲に感謝の心をもち、恩返しのできる気持ちで努力することが、人を成長させるということを強く感じました。私たちは、多くの人たちに助けられ、支えられていることを忘れずにいてほしいです。

## 給食集会 2月1日

すこやか委員会の運営で給食集会が開かれました。委員の子どもたちは給食の場面を演じ、食事のマナーについて注意を促しました。食文化という言葉があるように、マナーのレベルがそのままその国（人）の文化レベルを示すものでもあります。「食べる」という事は生きる事への本能的な行動であります。だからこそ、食物への感謝と周囲への配慮を意識したマナーは心得ておく必要があります。



クイズ形式でマナーの勉強→

### 給食週間について

給食の始まりは明治22年。今から130年ほど前になります。戦争で一時途切れましたが、昭和21年、戦後の食糧難による児童の栄養状態の悪化を受け、それを改善する目的で再開されました。昭和22年12月24日、米国のアジア救済公認団体から給食用物資の贈呈式が行われ、この日を給食感謝の日と定め、昭和25年から冬季休業と重ならない1月24～30日を全国給食週間としました。

## 論語検定週間 2月4～8日

各学年3編ずつ、6年間で18編の論語を暗誦します。本校では、



みんな学年枠を超えて頑張り、1年生は4年生のところまでの12編を、3年生以上は全員が18編全部を暗誦しました。全18編を暗誦した4年生以上には『達人賞』、4年生のところまで暗誦した1年生には『四段』が授与されました。

※写真は左から1・3・4・5・6年生

## そろばん教室 2月7日

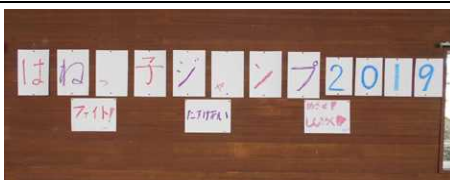
計算には、今や電卓を通り越して、コンピュータを利用する時代となってしまいました。しかし、数の概念を学ぶには、珠をはじいて計算するそろばんの意味は大きいと思います。

大塚アイ子さん、越谷靖子さんを講師に迎え、わずか2時間の授業でしたが、みんな興味をもってそろばんの計算に取り組みました。



## 羽っ子ジャンプ2019 2月8日

2週間にわたって、わんぱく班ごとに練習を重ね、その間の最高回数を基に目標を設定しました。当日はすべての班で目標をクリア！各班の協力とチャレンジ精神が光りました。何よりも、練習の時上級生が下級生を優しく励まし、面倒を見ていた事が心に残りました。はじめは泣きべそだった1年生も日に日に上達し、楽しそうに跳んでいました。



## すけがい保育園との交流会 2月22日

すけがい保育園の年中・年長園児を迎えて、交流会が開かれました。歌を歌ったり、物語を朗読したり、クイズを出したりして一緒に楽しみました。また、園児たちにランドセル体験もしてもらいました。園児にランドセルを背負わせる1年生は、立派なお兄さん、お姉さんでした。



国語の物語を朗読



園児のランドセル体験

すけがい保育園は今年度で閉園となるため、文字通り“最後の交流会”でした。4月から、羽生田小は壬生町内どこからでも通える学校になります。「また羽生田小で会いましょう」と伝えて別れました。

## 第5回学校運営協議会(2月6日)の報告

### 次年度の教育目標について

今年度最終の学校運営協議会では、学校評価の結果を踏まえて、次年度の学校教育目標の素案検討を行いました。保護者や地域の思いを反映し、自ら考えて自立できる人、本地区や栃木の未来を担う人を育成する教育目標でありたいと考えています。

### 小規模特認校制度について

本校が羽生田地区みんなの小学校であることを保護者や地域の皆さんに再認識していただくとともに、将来の羽生田小の姿をみんなで考えていかなければならないことを確認しました。本校の目指すべきものは、在籍するすべての児童にとって良い学校であり続けることです。この件については、過日の授業参観前にお話しさせていただいたとおりです。

### 結びに

学校運営協議会は次年度以降も継続し、保護者及び地域の代表者である委員により学校運営について協議が行われます。今後も「はじめに子どもありき」「みんなが一つに」「小規模校だからこそできる教育」の精神のもと、保護者・地域の思いを受けながら進めていきたいと考えています。

